2026年11月4日

各 位

会社名　ARETホールディングス株式会社
代表者名　代表取締役社長 東浦 知哉
(コード番号 5857 東証プライム市場)
問合先責任者　企画部長 西藤 慈郎
(TEL 03-6270-1833)

2027年3月期第2四半期(中間期)業績予想値と実績値との差異、通期業績予想の修正、剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年5月1日に公表いたしました2027年3月期第2四半期累計期間連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2027年3月期通期連結業績予想、剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想につきましても、下記のとおり修正することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 第2四半期(中間期)業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正

(1) 2027年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績値との差異(2026年4月1日～2026年9月30日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する中間利益	基本的1株当たり中間利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)(2026年5月1日発表)	330,000	20,000	19,500	14,000	162.90
実績値(B)	365,164	28,729	28,675	20,933	243.53
増減額(B－A)	35,164	8,729	9,175	6,933	
増減率(%)	10.7	43.6	47.1	49.5	
(ご参考)前期実績(2026年3月期第2四半期)	238,239	15,332	13,869	10,849	141.60

(2) 2027年3月期通期連結業績予想の修正(2026年4月1日～2027年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)(2026年5月1日発表)	680,000	41,000	40,000	29,000	337.43
今回修正予想(B)	700,000	52,000	51,000	36,000	422.98
増減額(B－A)	20,000	11,000	11,000	7,000	
増減率(%)	2.9	26.8	27.5	24.1	
(ご参考)前期実績(2026年3月期通期)	569,992	37,088	34,706	24,441	315.49

(3) 差異及び修正の理由

売上収益は、貴金属リサイクル事業において、貴金属価格が想定を下回るなか、AIデータセンター関連需要を背景に電子分野の売上収益が伸長したほか、工場在庫の減少に伴い貴金属の販売量が増加したこと等から、前回発表予想値を上回る結果となりました。利益については、北米精錬事業のトレーディング分野における裁定取引の増加や金融費用の低減等により、前回発表予想値を上回る結果となりました。

また、通期連結業績予想につきましては、当第2四半期(中間期)の実績及び足元の事業環境を踏まえ、前回公表した業績予想を修正いたします。

2. 剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正

(1) 剰余金の配当(中間配当)

	決定額	直近の配当予想 (2026年5月1日公表)	前期実績 (2026年3月期中間)
基準日	2026年9月30日	同左	2025年9月30日
1株当たり配当金	75円00銭	65円00銭	60円00銭
配当金総額	6,504百万円	－	4,644百万円
効力発生日	2026年11月27日	－	2025年11月21日
配当原資	利益剰余金	－	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2026年5月1日公表)	65円00銭	70円00銭	135円00銭
今回修正予想		80円00銭	155円00銭
当期実績	75円00銭		
前期実績 (2026年3月期)	60円00銭	65円00銭	125円00銭

(3) 中間配当及び期末配当予想修正の理由

2027年3月期の業績動向及び足元の事業環境等を総合的に勘案した結果、本日開催の取締役会において、中間配当について、前回予想から1株当たり10円増配し、75円とすることを決議いたしました。

また、期末配当につきましても、前回予想から1株当たり10円増配の80円を予定しており、これにより、2027年3月期の年間配当予想は、1株当たり155円となります。

※ 本資料に記載されている業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、国内外の産業活動、金融動向、貴金属価格推移等のさまざまな要因によって変動する場合があります。

以 上